



# 楓の森アップデート2



合志市立合志楓の森小学校  
学校だより 第11号  
令和6年10月22日(火)  
文責:校長 佐藤 政臣

○校訓「志高く 道を拓く」

○学校教育目標「夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成」

## 成長とは、周囲にエネルギーを注げるようになること

前期終業式では、次のこととお話しました。  
\*\*\*\*\*  
全員の通知表を見て、押印しました。  
その通知表で、担任の先生が書かれたコメントの中で、すばらしい子どもたちを紹介しました。  
その一つは、「ボランティアで、朝の草取りを毎日続けてがんばっていました。」という所見です。  
二つ目は、「給食の汁で、廊下が汚れていた時に、それを自分からすすんで雑巾でふいてくれました。」という所見です。

草取りや汚れたところを拭くという行為は、みんなのために行う行為です。

そのようなことができる人は、周りに気を配ることができる人です。自分を大切にすると同じように周りの友達も大切にできる人です。ですから、みんなから信頼されるようになります。

校長先生は、大谷翔平選手の話をよくしますが、大谷選手も、落ちていたゴミを自ら進んで拾う人です。よいと思う行いが身に染みついている人です。そのような人だからこそ、他人に気を配ることができ、チームメイトから愛され、自分自身も努力を積み重ねることで、偉大な野球選手になったのではないかと思います。

草取りや給食の汁を拭くことは、目立つことではありません。それをしたからといって成績が上がることはありません。しかし、それを自ら選んで人のためにがんばっている人は、人間的にすばらしい人です。大人になっても成功する人だと確信します。それは、裏表がない人間だからです。将来、みんなから愛される人になると思います。

**成長とは自分のことだけでなく段々周りにもエネルギーが注げるようになることです……**

というような、話をして、自分自身の振り返り(自分さえよければいいと思っていないか)をしました。

最後に挨拶について、話をしました。挨拶は、コミュニケーションの基本です。朝、登校指導をしていると、挨拶がすばらしい児童がいます。その児童をほめ、挨拶の大切さを伝えました。

ご家庭でも、「そうじ、あいさつ」など、集団生活の基本について話し合われてみてはいかがでしょうか。

## 科学展入賞 おめでとう

令和6年度科学展には、多くの児童が作品を出品することができました。入賞したみなさんおめでとうございます。ここで、各賞に入賞されたみなさんを紹介します。

- 熊本県良賞 3年 竹本樹生さん
- 金賞 3年 内田 和花さん、4年 田中 健翔さん  
4年 齊木 総介さん、4年 椎屋 真希さん  
4年 田嶋 仁稀さん、5年 大舟 優翔さん  
5年 池末 蒼海さん、5年 坂口 陽莉さん  
6年 内野 樹希さん
- 銀賞 4年 井上 叶望さん、6年 内田 賢吾さん  
6年 木佐木 湊さん、6年 坂本 椿さん  
6年 工藤 咲和さん、6年 猪口 歩希さん  
6年 鈴木 桜里愛さん
- 銅賞 1年 木村 知花さん、2年 竹内 耀優さん  
3年 日高 桃子さん、3年 前田 紘弥さん  
4年 上野 愛花さん、4年 浦山 咲歩さん  
4年 林田 壮佑さん、4年 松浦 莉央さん  
4年 笹原 光貴さん、5年 片山 凜飛さん  
5年 磯畑 莉乃さん、5年 馬場 柚妃さん  
5年 宮崎 陽和さん、5年 井上 聖捺さん  
5年 平田 心咲さん、5年 日渡 章人さん  
5年 猿渡 杏奈さん、5年 藤本 ゆめさん  
6年 池田 継太さん、6年 上田 陽葵さん  
6年 林 優花さん、6年 平川 瑞貴さん  
6年 井上 菜々子さん

科学展の作品は、1日で完成するものではありません。こつこつと何日もかかって仕上げたのだろう、という苦労が作品から伝わってきました。「やり抜く力」が育っています。来年もぜひ挑戦してください。

## 下校時の通学路の変更について

安心メール等で、再三お知らせしておりましたが、22日(火)より、セブンイレブン周辺の道路工事により、下校時の通学路が変更されました。

そこで本日は、職員が下校の様子を見守り、私も一緒に雨の中、歩いてみました。下校の様子を見てみると、ほとんどの児童がスムーズに下校できていましたが、なかにはわかっていない児童もいました。また、迂回路がせまいところもありますので、車には十分気をつけるように指導しました。

楓の森小 HP

学校行事や子どもたちの学習の様子につきましては毎日ホームページを更新していますので、ご覧下さい  
<https://es.higo.ed.jp/kaedenomori/>

